

届出日	平成〇〇年〇〇月〇〇日

(記載例)

## 直接経費の特許関連経費への充当申請書

(機関名)

(部署・職名)

(氏名)

役職印

(※ 契約調印者、または知的財産権について出願・譲渡等の権限を持つ者)

本機関においては、直接経費から特許関連経費を支出することにつき問題ないと判断したので、直接経費から本件特許関連経費を支出してよろしいか伺います。

発明の名称	〇〇〇の検出方法		
	事業名	研究タイプ	
未来社会創造事業		探索加速型	
	研究領域もしくはプログラム名(ない場合は「なし」と記載)	研究題目もしくは研究開発課題名	
「〇〇〇の実現」領域		〇〇の創出	
	契約番号もしくは課題番号		
12345			
	代表発明者		
	所属	氏名	
	〇〇大学大学院 理学研究科	〇〇 〇〇	
研究期間	平成 30年 4月 1日 ~ 33年 3月 31日		
研究目的			
発明の概要	(※ 自己の出願を含む既存技術に対する優位性、産業上の有用性等を具体的に示してください。)		
参考資料など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は、別紙として写しを添付すること)		
学内関係者の同意	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ※ 研究者及び直接経費管理部門等、必要と思われる学内関係者。		
出願日(予定)	平成 30年 12月頃を予定している		
特許権取得方針	<input checked="" type="checkbox"/> 対象特許は、本プログラムの成果である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 国内特許に関する経費である		
	共同出願人の有無(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	<input checked="" type="checkbox"/> 共同出願人(予定者)の同意を得ている(共同出願人がいる場合のみ)		
特許化見込の根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 研究期間内に当該国内特許権を取得する		
	早期審査の申請を行うとともに、担当弁理士から、早期審査を行うことにより委託研究実施期間内に権利化できる可能性が高いとの所見をいただいているため。 (※本申請書提出から委託研究実施期間終了まで2年を下回る場合は、具体的な根拠(担当弁理士のコメント等早期に特許が成立すると判断した根拠を記載してください。)		
備考			
知財担当者連絡先	氏名:		
	Mail:		
	TEL:	FAX:	